



メディカル チェック



内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！泌尿器科の腫瘍の話〜その96

コロナ禍における、新しい『リスク判定健診』の話①

隔月連載の腫瘍の話、今回からは、『リスク判定健診』について、お話しいたします。

国内、道内と同様、旭

川でも、本年に入り、新型コロナウイルス感染症患者数が、徐々に減少しています。旭川冬まつり、氷彫刻世界大会も無事に終わり、感染対策を十分

できないものですが、コロナ禍においては、通常診療も含め、病院への受診をためらうことも、うなずけます。

これまでもお伝えしていますが、当院では、人と人の接触機会を最小限にすべく、手軽に短時間で実施できる採血検査を中心とした、14項目の『ワン・ツーコイン健診』と、さまざまな病気にな

りましたが、昨年3月から、レナテック社様と共同し、『メタロバランスがんリスク判定健診』を、道北地域で初めて導入しました。これは、肺、胃、大腸、肝臓、膵臓と、男性では前立腺を加えた6種、女性では乳、子宮頸、子宮体、卵巣を加えた9種のがんについて、その存在するリスクを評価する検査ですが、今年2月まで毎月1回、ちょうど1年間実施し、なんと1446名の方々に受診して頂きました！

体調確認、体温測定を含めた受け付け、採血を実施、最後に約5分のビデオを視聴。全てが滞りなく、15〜20分で終了します。皆さんからのアンケートでも、ほぼ全ての方が、受け付けから帰宅までの時間と流れに十分満足され、9割の方が、また受けてい、ご家族や

頃です！ 私たちが健康で長く生きるためには、がんを含め、さまざまな病気の早期発見・治療が何より重要で、定期健診やドックの受診は、欠かすことの

昨年4月号でお話しし

北彩都病院 泌尿器科
 医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医
 徳光 正行
 北彩都病院 泌尿器科
 旭山2ノ7
 0166-461500